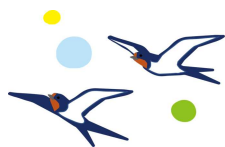


青郷小だより

令和3年 5月号
高浜町立青郷小学校



寄り添いながら



玄関前に立ち、桜の若葉を見上げると、澄み渡る五月の空が広がり、今年もツバメが元気な姿を見せてくれています。

新年度が始まって1か月、毎日子ども達は朝読書に取り組み、静かに落ち着いて1日をスタートし、それぞれが目標を持ち、学校生活を送っています。

「～さん、しっかりと話を聴きましょう。」学校では子ども達の力を伸ばしたい、成長させたいと願い、機会をとらえて指導や支援をしています。しかし、時として表面的な言動だけをとらえた指導をしてしまい、反省をすることがあります。

そのような時、以前に見た実話にもとづいたドラマを思い出します。

若い担任の女性が、よい学級をつくろうと一生懸命に取り組んでいました。その学級に、いつも遅刻をしてくる少年がいました。その少年は授業中も、やる気を見せず、横を向いたり机にふせたりすることがほとんどで、先生はその子を、「指導に手がかかる苦手な子」と感じていました。

ある日先生は、その子が入学してからの様子を記録した資料を見ました。

「何事にも一生懸命 友達好きでほがらか 家事もよく手伝う」
「母親が病気になり 看病のため疲れている 居眠りをすることが多い」
「母親が死亡 希望を失い悲しむ 父親も生きる意欲を失っている」

それから、その先生は放課後に、その子と一緒に勉強をするようになりました。するとその子の表情が少しずつ変わり、以前のやる気を取り戻し始め、勉強を楽しむようになりました。それから1年後、その子が6年生になると、担任は別の先生に変わりました。

それから6年後、その子から先生に1枚のカードが届きました。

「明日、高校の卒業式です。僕は先生に担任をしてもらって、とても幸せでした。おかげで奨学金をもらって医学部に進学することができます。」

それから10年後、その子から手紙が届きました。

「念願かなって医者になることができました。先生に出会えたことに感謝しています。あの頃、だめになってしまいそうな僕を救ってくださった先生は神様です。」

それから1年後、その子から結婚式の招待状が届きました。

「先生、母親の席に座ってください。」



(裏面に続きます)

104名、どの子どもも「もっと～になりたい」「成長したい」と思って、がんばっています。しかし、時として悩みやストレスから、間違った行動をしてしまうこともあります。

そのような時こそ、子ども達が出しているサインを見逃さないように、子ども達にしっかりと寄り添いながら支援できる教職員集団でありたいと思っています。



※ 子ども達の学校生活の様子をブログでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



〈 <http://seikyo.takahama-town.com/> 〉

〈QRコード〉

授業参観・緊急時引き渡し訓練を終えて

先月に実施しました授業参観におきましては、いくつもの感染対策をお願いする中、多数ご参観いただき、ありがとうございました。子ども達にとっても、学習の様子を保護者の皆様に見ていただくことが、大きな励みになったようです。

また、今回は感染対策としての緊急下校を想定した新しい体制での緊急時引き渡し訓練も実施しました。新しい引き渡し方法が有効かどうか、課題がどこにあるのかを確認するために、保護者の皆様にはご無理をお願いし、参観後に一旦帰宅してもらい、再度引き渡しのために来校していただきました。

訓練を終えて、引き渡し全体の流れ、各担当箇所の役割や連携など課題をいくつも確認することができました。今後は今回の訓練で明らかになった課題をもとに、より安全・確実に、そしてスムーズな引き渡しができるように改善していきたいと思います。

なお、今後は感染対策以外の大雨や雷発生時等にお迎えを依頼する場合にも、今回の引き渡し方法を取り入れたいと考えております。何卒、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

